

IPS e.max プレス をお使いの、すべての歯科医師と歯科技工士に見てほしい

IPS e.max® 30周年プレステクノロジー WEBセミナー

イボクラール ビバデント

Ivoclar Vivadent のプレステクノロジーは、IPS Empress にはじまり IPS e.max プレスと多くの方にご愛用頂き、30周年を迎えました。この感謝の意味を込めまして本イベントを開催する運びとなりました。

皆様にお楽しみ頂き、明日への臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。

片岡セラミック
片岡 繁夫 先生

CAD/CAM、ジルコニア、モノリシッククラウンおよび e.max プレスクラウンの作製に於いては、手作りとコンピューターの違いはあるものの、歯牙形態の再現は、最も重要で不可欠である。上顎前歯形態は概ね、円形、尖形、方形の基本三形態に属する。臼歯部に於いても、各部位における、歯牙形態（特に咬合面形態）は全て類異性があり、その定義がある。歯牙形態の定義を知ることによって、様々に変化する歯牙形態の再現が可能となる。今回、天然歯形態の定義と類異性についてお話しします。

11月25日(木) 20:00～

天然歯形態の定義と類異性



登録用 QR コード

全講師おまとめ
登録可能

10/14(木) 20:00～

MIと予知性を満たすテーブルトップベニア

～歯科医師と歯科技工士のパートナーシップ～

内山歯科クリニック 内山 徹哉 先生 / Dent Craft Studio M's Art 間中 道郎 先生

登録用
QR コード

10/21(木) 20:00～

IPS e.max プレスを見つめ直そう

テクノアート D.R.C. 赤坂 政彦 先生

登録用
QR コード

11/4(木) 20:00～

デジタル特別出演

ザ☆オープンシステム ～CAD/CAMあれこれ・Dr.きたみちが最新事情教えます～

きたみち歯科医院 北道 敏行 先生

登録用
QR コード

11/11(木) 20:00～

審美修復治療の最前線

代官山アドレス歯科クリニック 大河 雅之 先生 / 日本歯科大学 新谷 明一 先生

登録用
QR コード

11/18(木) 20:00～

プレステクノロジーを成功に導くために

～IPS e.max プレス 1302 症例を振り返る～

すぎおか歯科クリニック 相岡 宣好 先生 / 黒田 貴代江 先生

登録用
QR コード

※視聴時間は各回で異なり、60～100分を予定しています。また、内容等に変更がある場合もございます事を予めご了承ください。
視聴(無料)にはオンラインでの事前登録(無料)が各配信予定日の前日までに必要となります。

IPS e.max® 30周年プレステクノロジー WEBセミナー

日時 / 講演者	抄録
10月14日(木) 20:00～ 内山 徹哉 先生 間中 道郎 先生	MIと予知性を満たすテーブルトップベニア ～歯科医師と歯科技工士のパートナーシップ～ 2021年現在、ニケイ酸リチウムを使用したプレスセラミック修復は、我々チームにとって必要不可欠なものとなっている。なかでも e.max は、その物性、操作性において非常に安定しており、西洋諸国のみならず、世界的にも使用されているニケイ酸リチウムである。しかしながら、この材料の長所を最も引き出すためには、その物性のみならず、接着機構の理解が必要不可欠である。今回我々は、ニケイ酸リチウムの特徴を活かしたテーブルトップベニア修復を各ステップの動画を交えて紹介することで、上記の内容を説明させていただく。
10月21日(木) 20:00～ 赤坂 政彦 先生	IPS e.max プレスを見つめ直そう 今日のオールセラミックス全盛期において、数ある補綴形式からプレスセラミックスを選択する際の製作過程における注意すべき点と、使用する純正マテリアルの解説をテクニシャン目線だけではなく、歯科医師も含め改めてイボクラール製品の理解を深めて戴けるような内容です。どのようにプレスセラミックスは作られ、どのようなエラーが発生しやすいのか、ワックスアップから接着過程までをそれぞれ使用されるマテリアルまで解説し問題点を解き明かしていければと思います。これから始める入門者や、日常臨床でエラーに悩まされているユーザーと e.max プレスを見つめ直す時間になればと願っています。
11月 4日(木) 20:00～ 北海道 敏行 先生 デジタル特別出演	ザ☆オープンシステム ～CAD/CAM あれこれ・Dr. きたみちが最新事情教えます～ デジタルデンティストリーの発祥の一つに、1987年にスイスのチューリッヒ大学の Mörmann 教授らが CR 充填の欠点である重合収縮と、後に起こる熱膨張を改善するためにメガフィラーの原理を使用した CEREC システムを開発したことに始まる。同システムはクローズドシステムとして進化し続け、現在世界において3大口腔内スキャナーと言われるまで発展した。現在はアナログからデジタル技術応用への移行期である。CAD/CAM 関連各社が技術力を競い合い、より良い技術をユーザーが自由に選択でき、構成できるオープンシステムの推進が歯科業界全体で取り込まれるようになり、我々歯科医師も自由に選択できる時代になってきた。当院では様々な IOS と CAD/CAM システムを臨床に使用しており、開業歯科医師の一般歯科臨床の修復分野へどのように活用できるのかをお話したい。
11月11日(木) 20:00～ 大河 雅之 先生 新谷 明一 先生	審美修復治療の最前線 現在、審美修復治療はバイオメティック(生体模倣)アプローチという考え方が浸透し、できるだけエナメル質と歯の構造を保存する接着修復が世界的に潮流となってきている。接着技術の進化とインプラントの登場の恩恵によりクラウンやブリッジ修復における従来型の保持形態、抵抗形態付与のためのアグレッシブな支台歯形成は、前歯のみならず臼歯においても、今やそれらの再治療時のみに用いられるべきである。 また、顔貌から抽出する治療計画立案(Facially Generated treatment planning)は審美修復治療には必須である。前歯を含む修復治療計画立案においては、審美のガイドラインが確立され、歯や歯列の検査の前に、顔貌や口唇と歯の関係の審美分析を行うことは必須となってきている。 本WEBセミナーでは、①MIを考慮した治療計画立案とボンデットセラミックレストレーション(BCR)の中期的予後についての考察。②臼歯のBCRの考え方とマテリアルセレクション。③MIフルマウスリハビリテーション。④オールセラミックの接着とそのエビデンスなど審美修復治療の最前線について臨床症例を用いてお話ししたい。
11月18日(木) 20:00～ 梶岡 宣好 先生 黒田 貴代江 先生	プレステクノロジーを成功に導くために ～ IPS e.max プレス 1302 症例を振り返る～ シンベニアからフルマウスリハビリテーションまで単独材料で可能にする IPS e.max Pressは歯科臨床に携わる方々の必須アイテムと思います。13年間1302症例に応用しました。患者満足を得ることができ、長期的安定を得るための重要なポイントは症例選択から支台歯形成・インゴットの選択・セメント選択にあります。今一度、歯科医師と歯科技工士が共有すべき項目とテクニックの勘所をお伝えします。プレステクノロジーを皆様に幅広く多くの症例に使用して頂き、明日の臨床にお役に立てればと思います。
11月25日(木) 20:00～ 片岡 繁夫 先生	天然歯形態の定義と類異性 CAD/CAM、ジルコニア、モノリシッククラウンおよび e.max プレスクラウンの作製に於いては、手作りとコンピューターの違いはあるものの、歯牙形態の再現は、最も重要で不可欠である。上顎前歯形態は概ね、円形、尖形、方形の基本三形態に属する。臼歯部に於いても、各部位における、歯牙形態(特に咬合面形態)は全て類異性があり、その定義がある。歯牙形態の定義を知ること、様々な変化する歯牙形態の再現が可能となる。今回、天然歯形態の定義と類異性についてお話しします。

皆様のご登録お待ちしております!すべてのWEBセミナーは無料でご参加できます。



ホームページからのお申し込みはこちらから、ご登録ください。→→→→→→
URL: <https://www.ivoclarvivadent.jp/jp/education/courses-in-japan/>

